

47 市民向け講座による様々な利用者へのサービスと地域連携の充実

愛知県 おおぶ文化交流の杜図書館

基本データ

所在地	愛知県大府市柘山町 6丁目150番地の1
職員数	30人
うち司書数	20人
蔵書数	約420,000冊
利用登録者数	約61,400人
年間貸出冊数	約1,480,000冊 (児童用図書貸出数 約591,000冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】様々な利用者へのサービスの充実

【活動のねらい】

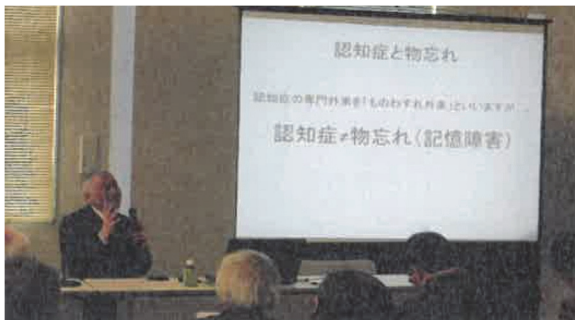
- 誰でも自由に気軽に図書館をご利用いただくため。
- 本離れ、活字離れが叫ばれる昨今、敷居を低くし興味あるイベント・講座等の開催により、まず図書館に来ていただき、そして図書館のファンになっていただく。
- 知的で文化的な空間且つ、自由で楽しい図書館を目指す。
- 平日約4,000冊、土休日約8,000冊が借りられている図書館を、少人数(スタッフ30名)で廻すには、ICT機器の活用が不可欠。

取組・活動の概要

- 「ふるさと講座」・「子育て支援講座」・「文章講座」・「調べ学習講座」の4講座を中心に、図書館子どもまつりの他、英語で本を読み隊(英文多読講座)・市内在住外国人向けの「日本語多読講座」など多彩なイベント企画を数多く開催。

(1) ふるさと講座

- 地元を知り郷土愛を育む心を醸成する事を目的に開催(年4回実施)。
- 2019年度は、郷土史家の先生を講師に、大府市にかつて飛行場があり戦闘機を作っていたという、大府市民の知られざる歴史を紹介。
- また、地元の医療施設(国立長寿医療研究センター)から講師を招き、認知症講座を開催。講義+質疑応答形式の実践的な講座とした。



ふるさと講座「医者から学ぶ認知症」

(2) 子育て支援講座

- 子育て中のお母さんを対象に開催。親子で受講する講座のみならず、子供だけが参加する講座も開催。講座の間お母さんは、図書館内で子育て

てから解放された時間を過ごしてもらおうなどの試みを実施(年4回実施)。

- 2019年度は、「自分でできるよ!折り紙教室」と題し、図書館スタッフが先生となり恐竜の折り紙を作る講座を開催。子どもだけの参加とし、約2時間ほど保護者は館内で自由な時間を過ごしてもらった。
- また、地元の中学校の先生でTVや新聞にも数多く紹介されている名物先生を講師に、実験参加型の講座を実施。



子育て支援講座

(3) 文章講座

- 活字離れが叫ばれて久しいが、まず図書館の本を借りていただく事、本に親しんでもらう事を目的に、幅広いジャンルの講座を開催(年6回開催)。
- 2019年度は社会福祉法人名古屋市身体障害者福祉連合会から講師をお招きし、「点字教室」を開催。実際に点字の作り方、読み方などを体験してもらった。

- また、大府市在住の弁護士による「これからの相続と遺言」講座を開催。図書館外部データベース「法律DI-law」の活用なども紹介。



文章講座「これからの相続と遺言」

(4) 調べ学習講座

- 図書館の資料を利用したおはなし会形式の子供向け講座（年6回程度開催）。
- 2019年度は「発酵」/「科学実験教室にじいろのひかり」/「親子でなろう図書館マイスター」/「みんなで作ろうアローブ アクアリウム」などを開催。



調べ学習講座 おはなし会「発酵」

(5) 図書館子どもまつり

- 子どもの図書館利用促進並びに、大人も含めた地域の方々が図書館を身近に感じていただけるように、毎年7月下旬の火曜日・水曜日の2日間開催。



「第30回 図書館子どもまつり」

- 図書館ボランティア16団体と共同で半年前から企画、運営も全てボランティアとスタッフが行う。2019年度は2日間で過去最高の3,237名が参加。

(6) 市民文化交流イベント

- 若者と高齢者、障がい者、外国人など多様な市民が「本」を通してつながり、文化・芸術の「継承」・「発信」・「発展」を拠点となって行うイベント。毎年秋から冬の時期に開催。
- 2019年度は図書館開館5周年企画として「夢幻百物語」の公演を実施。小泉八雲の「耳なし芳一」・「雪おんな」を、能楽師と琵琶演奏者・人形師・浪曲三味線で織りなす舞台と、関連する講演会を行った。



市民文化交流イベント 「夢幻百物語」開催チラシ

取組・活動の工夫や特徴

- 禁止事項のポスターなどの掲示は極力なくしている。館内サインを統一し、お願い事項などはピクトグラム（絵単語）で表示。
- 図書館内は蓋付きであれば飲み物は持ち込み自由。禁止事項を減らし、自由に楽しい空間に。
- ホールやギャラリー、カフェを併設している複合館のメリットを活かした運営。
- 自動貸出機の導入。利用率約97%

取組・活動の成果や今後の展望

- 人口6万～10万人の市町村では、3年連続貸出数及び、人口一人当たりの貸出冊数が日本一。
- スタッフ全員が認知症サポーター講座を受講。障がいをお持ちの方、その御家族にとって情報ステーションの役割を持つ図書館に。